

かわら版

瑞穂市

(仮称) 中山道大月多目的広場 市民ワークショップ
第2回市民ワークショップ

第2回ワークショップを開催しました！

第2回ワークショップでは、前回のワークショップで「利用者を限定せず、多くの人に利用してもらいたい」との意見が多かったため、公園の「バリアフリー」についても学びました。その後、前回と同様に4つのグループに分かれ、公園に導入したい具体的な施設等についての意見交換と模型の作成を行いました。



第2回ワークショップの概要

- 日時 平成30年6月23日(土)
13:30～16:30
- 場所 巢南公民館 多目的ホール
- 参加者 23名
- 内容 次のとおり

..... みんなで模型をつくりました



～開会～

1. 前回の振り返りと今回のワークショップについて
2. みんなが利用しやすい公園とするために(バリアフリーについての学習)
3. 意見交換&模型の作成
 - ①意見交換&模型の作成
 - ②グループ発表

～閉会～

1 第1回ワークショップの主な意見

- 子ども、若い夫婦、高齢者など多くの人に利用してもらえる公園としたい
- 施設配置を工夫し、安全に利用でき、世代間の交流を育めるような公園としたい
- 子どもたちが走り回ったり、体を動かして遊べるようにするのがよい
- ゲートボール場は残したい(移設も含め)
- 市民の健康のためにウォーキング、ジョギングなどができるとよい
- 様々なスポーツができるようにするとよい
- トイレや駐車場は必要である
- せせらぎ水路や巢南グラウンドなどと一体的に利用できるよう検討する
- 災害時のことも考え、避難所や設備を考える必要がある

2 バリアフリーについての学習

- 施設配置に関するバリアフリーのポイント
 - ポイント①: 主動線となる園路は、主要な公園施設と接続しましょう
 - ポイント②: トイレはバランスの良い位置に配置しましょう
 - ポイント③: 園路には適宜、休憩所(四阿等)を設けましょう
- 主動線となる園路に関するバリアフリーのポイント
 - ポイント①: 園路の幅は1.8m以上としましょう
 - ポイント②: 車いす使用者等の通行の支障となる急こう配、段差はなくしましょう

3 意見交換 & 模型の作成

第1回では公園整備に対する思いを意見交換し、グループごとにとりまとめました。今回は、その結果を踏まえ、公園のコンセプトや施設の種類・配置等についてより具体的な意見交換を行いながら、公園の模型を作成しました。

また、各グループで作成した模型をもとに、どのくらいの費用が必要か、コストの算出も行いました。

Aグループ



A 発表内容

- 競技を限定せずに利用できる多目的球技場を設置する
- BBQ スペースと遊具、子どもたちが自然に触れ合えるような森を整備する（BBQ スペースは場所のみの整備で器材や食材を持込む）
- 雨天時でもゲートボールやフットサルなどに利用できるドームテントを設置する（イベント開催時には観客席にも利用できる）
- マルシェやキッチンカー、イベントトラック等を置けるようなスペースをつくる
- 既存の水路を活かし、水遊びができるようにする
- 外周園路を設置し、多くの人が健康づくりのために利用できるようにする



Bグループ



B 発表内容

- サッカーの他、様々なことに利用できる芝生広場をつくる
- ゲートボール場は、高齢者が利用しやすいように駐車場の近くに配置する
- かきりんをモチーフとした、避難所・休憩所として利用できるドーム型シェルターを設置する
- 高台になっている部分は人工芝とし、フットサルができるようにする
- 公園の外周にはあじさいを植え、回廊とする
- 駐車場の近くに物産販売所を設置する
- 規模の大きい広場であるため、駐車場は300台程度必要である
- トイレは既存のものに加え、ゲートボール場付近に1箇所追加する





Cグループ

コンセプト 集う・楽しむ・なごむ・遊ぶ・運動する・よばり広場



C 発表内容

- サッカーやイベント（野外フェス）などに多目的に利用できる芝生広場を整備する（FC 岐阜の試合や周辺市町村のサッカー大会を開催する）
- 多様な世代が思い思いに楽しめる BBQ ドームを設置する（近隣農家の野菜等を使用した BBQ）
- 災害時やイベントに利用できる大型ドームテントを設置する。ドームテントには上空からでもわかるよう「かきりん」を描く
- 小さい子どもが毎日来られるよう、大型遊具やトイレを設置する
- 自然と触れ合える森の広場を設置する
- 巣南庁舎で開催されている「みずほふれあいフェスタ」を当公園で開催する



Dグループ

コンセプト 災害対応できる多目的広場



D 発表内容

- 災害時にどのような形でも利用できるように、広いスペースを確保する
- サッカーコートとしても利用できるように人工芝の広場を整備し、その周辺は天然芝とする（子ども達が裸足で駆け回れるように）
- 屋根付きのゲートボール場（人工芝）を整備し、災害時には本部を設置できるようにする
- 災害時でも利用可能なように、自家発電式のナイター設備を導入する
- スポーツでの利用に対応するため、シャワールームや更衣室を完備した管理棟を設置する
- 大月浄水公園との連携も考え、水路を広場まで延長し、更に花壇なども整備して自然を感じられるようにする



WS の成果

～各グループが考えたコンセプトを紹介します～

Aグループ	コンセプト	子ども・若者・高齢者が集え、健康づくり・世代間交流ができる
	主な公園施設	【スポーツゾーン】 多目的球技場 【ファミリーゾーン】 バーベキューサイト、大型遊具 【イベントゾーン】 ドームテント、マルシェ・キッチンカー・イベントトラックを駐車できるスペース 【水遊びゾーン】 水路を活用した遊び場
	計画のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 競技種目を限定せず、多様な使用に対応可能（多目的球技場） ● 全天候に対応可能（ドームテント） ● イベントの開催で市内外の多くの人を呼び込むことが可能 ● 現況の水路を活用して子育て世代、若者に向けたスペースとする ● 外周園路を整備し、健康づくりに活用できるようにする ● 自然に触れるスペースを確保 ● 災害時に対応可能
Bグループ	コンセプト	夢のある多目的広場
	主な公園施設	多目的広場、フットサルコート（人工芝）、ゲートボール場、遊歩道（ランニングコース）、ドームシェルター、遊具、物産販売所、管理棟（放送設備あり）、駐車場、トイレ、あじさい通り（広場外周）
	計画のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 遊具は図書館と連携した遊びスペースとなるよう配置 ● 「かきりん」をモチーフに利用した物産販売所・ドームシェルター ● ゲートボール場は移設（駐車場の近くに配置し、高齢者が利用しやすいように）
Cグループ	コンセプト	集う・楽しむ・なごむ・遊ぶ・運動する「よくばり広場」
	主な公園施設	芝生広場、大型ドームテント、BBQドーム、大型遊具、森の広場、鮎のつかみ取り＆鮎焼き
	計画のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● FC 岐阜を呼ぶことのできるサッカーコートを設置 ● サッカー大会やスポーツイベントが開催でき、周辺市町から人が集まるようにする ● 上空からでも見つけられる「かきりん」ドーム ● 地場野菜を使用した BBQ→BBQ の利益を公園の管理費とする ● 朝市や菓南庁舎で開催されている「ふれあいフェスタ」を公園で開催する
Dグループ	コンセプト	災害対応できる多目的広場
	主な公園施設	人工芝の広場、天然芝の広場、全天候対応の人工芝の広場、遊具、シャワールーム・更衣室完備の管理棟、水路、花壇、藤棚、ベンチ、四阿、駐車場
	計画のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 維持管理を考え、人工芝を採用 ● 災害時に対応できる大きな広場（ヘリ離着陸可）、ドームテント、ベンチ等 ● 大月浄水公園との連携

第2回 WS の主な意見

- さまざまなシーンで利用できる芝生をメインとした多目的広場にしよう（災害時、スポーツ、野外イベント等）
- 子どもからお年寄り、ファミリーなどいろんな人が楽しめる！
- 森の整備や水路の活用により、自然を感じ、触れ合えるようにする
- ドームテントを設置し、どんな天気でも使える
- かきりんは施設のモチーフや“空からの目印”としてはどうか
- 物販などで維持費を稼ごう
- 周辺施設との連携も大事



今後のスケジュール

今後、ワークショップでの成果を踏まえ、市民の皆さんに愛されるような基本計画を策定します。

（仮称）中山道大月多目的広場整備に関するご意見がありましたら、下記までお寄せください。

【問い合わせ先】

〒501-0392 瑞穂市宮田 300 番地 2 瑞穂市役所菓南庁舎 生涯学習課 担当：児玉、馬淵
 TEL：058-327-2117 FAX：058-327-2105 Eメール：syougai@city.mizuho.lg.jp
 瑞穂市生涯学習課ホームページ：http://www.city.mizuho.lg.jp/1309.htm